

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
司会：土屋課長	<p>皆様こんばんは。本日はお忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。私は本日の会議の司会を務めさせていただきます。福祉部高齢者福祉課長の土屋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず会議に入ります前に、4月の人事異動に伴いまして、3名の委員の方の交代がございました。つきましては、福祉部の戸ヶ崎部長より委嘱書の交付をしたいと存じます。</p> <p>では、在宅医療サポートセンターの越川由香里様。 続きまして、幸手保健所、内田雅敏様。 続きまして、久喜菖蒲地域包括支援センターの松浦康雄様。 3名様、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>ありがとうございました。ただいま委嘱書をお渡ししました3名の委員の皆様から一言ご挨拶を頂戴したいと思います。ただいまマイクをお持ちますので、越川様から順に、お名前と、ご挨拶をいただければと思いますよろしくお願い致します。</p>
越川委員	<p>南埼玉郡市在宅医療サポートセンターの越川と申します。よろしくお願い致します。在宅医療と介護に関する相談事や困り事がございましたら、お気軽にお電話いただければと思います。よろしくお願い致します。</p>
内田委員	<p>幸手保健所の内田と申します。4月に異動してきたばかりで、いろいろとわからないことだらけですけれども、皆様方、どうぞよろしくお願い致します。</p>
松浦委員	<p>菖蒲地域包括支援センターの松浦と申します。私も4月から菖蒲の方に異動して参りました。皆様にいろいろと勉強させていただければと思います。よろしくお願い致します。</p>
司会：土屋課長	<p>ありがとうございました。申し訳ございません、着座にて失礼いたします。</p> <p>続きまして、本会議の運営につきましてご案内を申し上げます。会議録の作成でございます。会議録につきましては、て・に・を・はや繰り返しの発言等を整理させていただいた上で、全文記録方式で作成し、公開させていただきます。そのため、会議を録音させていただきますので、ご了承いただきたいと存じます。会議録につきましては事務局で作成いたしまして、委員の皆様にご確認いただいた後に、議長と議事録署名人お2人の方に署名をいただき、市のホームページ等で公開をさせていただきます。運営に関しては以上でございます。何かご質問がありましたらお受けしたいと存じます。いかがでしょうか。よろしいですか。はい。ありがとうございます。</p>

司会：土屋課長	<p>それではただいまから令和5年度第1回久喜市在宅医療介護連携推進会議を開催させていただきます。本日のご出席は委員19名中全員ご出席をいただいております。それでは会議の開催にあたりまして、関谷座長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。それでは座長よろしくお願いたします。</p>
関谷座長	<p>はい。ご指名の関谷でございます。座長させていただきます。平成28年度からですね、この在宅医療連携会議っていうのが発足されて、在宅医療の医療資源、やっぱり随分と充実してきていますし、それに、また介護資源、これも非常に充実してきたと、実感しております。これらをですね、まとめていく力も、ここのところから発信していくというふうに私は自負しております。コロナで非常に大変なことになった、非常にハプニングと言っていると思うんですけども起こりましたし、そのときでもですね、いろいろ知恵を絞りながらやっていったという実績があります。この会が非常にこの久喜市の在宅医療介護連携をきちっと進めていっているというふうに私は自負しております。人口構成を考えるとですね、実は、これからが正念場だと思います。その問題や解決に向けてですね、これから皆様のお知恵をお借りしまして、前進させていきたいと思しますので、ご協力をお願いいたします。</p>
司会：土屋課長	<p>はい。ありがとうございます。ただいまご挨拶をいただいたのですが、本日お配りしている配布資料について確認をさせていただきます。</p>
議長（関谷座長）	<p>それではこれより、久喜市在宅医療介護連携推進会議設置要領第5条第2項の規定によりまして、関谷座長に議長をお願いいたしまして、議事を進めていただきたいと思います。関谷座長よろしくお願いたします。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。ご指名ですので、議事を進めさせていただき、議事進行を務めさせていただきます。円滑に協議が行え、進行いたしますよう皆様のご協力をお願いいたします。</p>
池上委員 次藤委員	<p>それでは、最初に、本日の会議の議事録署名人を確認させていただきます。資料の1-2で配布しました、委員名簿順で、7番目の池上栄一委員と、9番目の次藤千恵委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
池上委員 次藤委員	<p>池上委員 承認します 次藤委員 承認します</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。池上委員と次藤委員、よろしくお願いたします。それでは本日の議事、協議事項に移りたいと思います。まず、協議事項の1、令和5年度在宅医療・介護連携推進事業活動案についてでございます。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局：加納補佐	<p>では、（1）令和5年度久喜市在宅医療介護連携推進事業活動案についてご説明いたします。資料4をご覧ください。</p>

<p>事務局：加納補佐</p>	<p>右側に、アからクの項目ごとに、令和4年度までに実施した内容と、令和5年度の予定について記載しております。</p> <p>(ア)の地域の医療介護資源の把握につきましては、令和3年度より導入いたしました、社会資源把握システム、ケアプロnaviの情報更新のため、関係機関に基本情報確認シートを送付し、ご回答いただきました。最新情報を、随時ケアプロnaviに反映させ、市民の方に公表しております。各機関へのアンケート回収率からもわかる通り、調査について、関係機関の協力を得ることが課題となっております。令和5年度も同じように調査を行って参ります。また、回答のない関係機関につきましては、1件ずつお声掛けさせていただこうと思っております。</p> <p>(イ)の在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策の検討についてですが、令和4年度は7月27日と1月31日に2回の会議を開催し、事業の取り組みと課題について協議をいたしました。また、在宅医療介護関係者の研修会についても協議を行い、皆様のご協力を得たところでございます。令和5年度は、推進会議を年3回、本日を含め、11月頃と3月19日を予定しており、研修会は年2回、7月26日と1月17日を予定しております。皆様の活発なご意見とご協力をお願いいたします。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>(ウ)の切れ目のない在宅医療と介護の提供体制構築推進についてでございますが、南埼玉郡市医師会に一部業務を委託しております。令和4年度は入退院支援ルール策定に向けた協議体を立ち上げ、会議を2回行いました。令和5年3月に入退院支援ルールが策定され、ルールを紹介するリーフレットができ上がり、本日皆様に資料としてお渡ししております。このリーフレットにつきましては、7月26日の在宅医療介護関係者研修会において、詳しく説明させていただく予定でございます。リーフレットは、令和5年4月に、皆様や他の関係機関にも郵送等で広く周知させていただきましたが、より詳しい説明を希望される場合は、直接伺うなどして対応したいと考えております。また、訪問診療を受けるにはという簡単な冊子を作成し、在宅医療サポートセンターのホームページ及び市の窓口で配布しております。その他、在宅医療介護関係者向けの動画コンテンツを作成し、在宅医療サポートセンターのホームページで公開しているとの報告を受けております。</p> <p>次に3ページをご覧ください。</p> <p>(オ)の在宅医療介護連携に関する相談支援についてでございますが、令和4年度に在宅医療サポートセンターで行われた相談実績は、久喜担当医師会在宅医療サポートセンターが75件、蓮田、白岡、宮代担当の奏診療所で55件となっております。病院関係者や地域包括支援センター、介護支援事業所等からの相談が主となっております。4ページをご覧ください。</p> <p>(カ)の在宅医療介護連携関係者の研修についてでございますが、令和4年度は11月9日に開催いたしました。令和5年度は2回開催する予定です。皆様のご意見を含めまして、第1回目は7月26日に、入退院支援ルールについてと、アドバンスケアプランニング、ACP会議とはというテーマで考えております。2回目は1月17日を予定しており、身寄りのない高齢者の対応について考えております。詳細については、次の議事で協議させていただく予定です。</p>
-----------------	--

事務局：加納補佐	<p>次に5ページをご覧ください。</p> <p>(キ)の地域住民への普及啓発につきましては、市のホームページにおいて掲載させていただいております。令和5年度も同様に周知に努めたいと考えております。</p> <p>(ク)の二次医療圏内関係市区町村の連携につきましては、久喜市、蓮田市、白岡市、宮代町の3市1町で集まり事業について連携して進めているところでございます。令和5年度も引き続き連携を図って参ります。</p> <p>(1)令和5年度久喜市在宅医療介護連携推進事業活動案については以上でございます。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。ただいま今年度の活動状況についての説明がありました。会議と研修会の日程の報告がありましたので、出席の程、ご協力をお願いいたします。この中で何かご質問がございますでしょうか。よろしいでしょうか。協議事項1の令和5年度久喜市在宅医療介護連携推進事業活動案についてはよろしいでしょうか。</p> <p>特に質問とかございませんので、続きまして、協議事項の2。第1回在宅医療介護連携研修会の開催についてです。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局：加納補佐	<p>はい。(2)在宅医療介護関係者研修会の開催についてご説明いたします。</p> <p>資料5をご覧ください。</p> <p>令和5年度第1回在宅医療介護関係者研修会の開催に関する案をお示ししております。この研修会は、地域の医療と介護の関係者が共通理解と情報共有に努めた多職種連携を推進するために実施するものでございます。研修会の参加により、知識の習得とともに、顔の見える関係づくりを行うことで、今後の在宅医療と介護関係者との連携を円滑に図ることができるものと考えております。</p> <p>日時は令和5年7月26日水曜日、午後7時から9時、会場につきましては、久喜市総合文化会館広域文化展示室で、参加者につきましては、医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員等、約80人を予定しております。第一部では、「入退院支援ルールについて」と題しまして、南埼玉郡市医師会在宅医療サポートセンターの岩楯信司事務局長に講師をお願いしております。第二部では「最後まで自分らしく暮らし続けるための人生会議、アドバンスケアプランニングを始めよう。さあ始めよう人生会議」と題しまして、新井病院院長の関谷栄先生に講師をお願いしております。第三部ではグループワークを行います。テーマを二つに分け、テーマ1では「入退院支援ルールを見て、専門職としてできることは何か」、テーマ2では、「人生会議を聞いて、より多くの人に広めるためにはどのような方法があるのか、考えてみよう」と題し、総合司会を本会議の座長であります、新井病院院長の関谷先生をお願いしたところでございます。グループワークは1グループに、各職種が配置されるように、参加者数を分けて行います。また、タイムスケジュールにつきましては、次のページに記載した通りでございます。これらにつきまして、協議をお願いいたします。</p> <p>(2)第1回在宅医療介護関係者研修会の開催については以上でございます。</p>

<p>議長（関谷座長）</p>	<p>はい。ありがとうございます。 ただいま事務局から、第1回在宅医療介護関係者研修会の開催についての説明がありました。何かご質問はございますでしょうか。 私の方でちょっとですね、「ACP人生会議最後まで自分らしく暮らし続けるための」という、僕も講演を実はやっております。県がですね、医師会を通じて、補助を出してですね、事業を進めているんですね。それに関してですね、すごく、会をやっている医師会と会をやっていない医師会があるのがわかっております。もう何回も何回もうちのグループのACP会議、人生会議の講演会をしている医師会と、もう本当にほとんどやってない医師会とございます。これは県からの要請で動いているものです。この市からのものはまた別に考えて行くべきいくものなのですか、それとも県の流れの一環として考えてよろしいものなのでしょうか。とりあえず今回に関しては市の方のものでやっていって、ということですね。県とは関係ない。県とは別に市でやっていくということですね。 ありがとうございます。これ講演会を僕はさせていただいて、そのあとにみんなでこれを広めるためにどうしようということを考えていただく、ということで、これはこれってということですね。</p>
<p>事務局：加納補佐</p>	<p>はい。その通りです。</p>
<p>議長（関谷座長）</p>	<p>じゃ、一応県のと、市と二本立てで考えていきたいと思いますということでもよろしいわけですね。はい。ありがとうございます。 その他に何かご質問ございませんでしょうか。研修会について、もう日程も決まっておりますし、場所も決まっておりますし、内容も決まっております。特になようなので、この案について、これで企画していただくということで、よろしく願いいたします。 それでは協議事項の3、在宅医療・介護連携推進事業業務の委託についてです。事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局：加納補佐</p>	<p>（3）在宅医療介護連携推進事業業務委託についてです。 資料4の久喜市在宅医療介護連携推進事業の活動状況についてをご覧ください。 平成30年度に久喜市、蓮田市、白岡市、宮代町から成る3市1町と南埼玉郡市医師会において、在宅医療・介護連携推進事業業務委託契約を結び、相談拠点となる在宅医療サポートセンターを設置しました。サポートセンターでは、主に在宅医療介護連携に関する相談支援を中心に、二つの相談窓口を設置し、久喜担当は南埼玉郡市医師会サポートセンターが、蓮田、白岡、宮代担当は奏診療所が行っております。また、ウの切れ目のない在宅医療と介護の提供体制構築推進と、エの医療介護関係者の情報共有の支援の一部を、南埼玉郡市医師会在宅医療サポートセンターに委託して事業を行っております。令和4年度は、入退院支援ルールの策定や訪問診療を受けるには、在宅医療介護関係者対象の動画コンテンツを作成し、在宅医療サポートセンターホームページで公開しております。今後の経過についても、この会議で報告して参ります。 （3）在宅医療・介護連携推進事業業務委託についての説明は以上でございます。</p>

<p>議長（関谷座長）</p>	<p>今、在宅医療・介護連携推進事業業務委託についての説明がございましたが、よろしいでしょうか。また今年も引き続き業務委託でやっていただくということで、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは協議事項4、その他についてです。事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局：加納補佐</p>	<p>では、（4）その他についてです。</p> <p>びわ色のチラシ、「お役に立ちます。地域包括支援センター」、をご覧ください。久喜市では、市内5ヶ所に地域包括支援センターを設置しております。高齢者に関する相談がございましたら、お住まいの地区の地域包括支援センターにご連絡、ご紹介くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>次に、白色のチラシ、「もしかしてをサポートします。認知症初期集中支援チーム」、をご覧ください。認知症総合支援事業、介護保険法第115条の45第2項第6号の認知症初期集中支援推進事業の目的として、認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期から関わる認知症初期集中支援チームを配置し、早期診断早期対応に向けた支援体制を構築することとなっております。実施主体は市町村ですが、委託することも可能となっております。久喜市では、認知症疾患医療センターである久喜ずのき病院に業務委託をし、活動を行っております。また、認知症初期集中支援チーム検討委員会は、医療、保健福祉に携わる関係者等から構成し、関係機関、団体と一体的にこの事業を推進していくための合意が得られる場となるよう努めること。主治医に対する連絡票等、情報の共有化に向けたツールの作成や、それを用いた地域の連携システムの構築を図ることとなっております。チームの活動状況については、令和3年度、令和4年度と1件ずつ訪問活動を行い、チーム員会議を開き、介護申請からサービスに繋がりました。令和5年度の実績につきましては、第3回の会議で報告し、検討していただくことを考えております。</p> <p>次に、コスモス色のチラシ、「ご存知ですか。認知症簡易チェックサイト」をご覧ください。こちらはパソコンを使ってチェックするものとなっております。また、携帯電話やスマートフォンでQRコードを読み取ってもできる仕様となっておりますので、認知症かもしれない、気になる方がいらっしゃいましたら、紹介していただきたくお願いいたします。このチラシにつきましては、市役所及び総合支所窓口や各地域包括支援センター窓口、保健センター窓口に配架しております。</p> <p>最後に別紙をご覧ください。テーマ、「身寄りのない高齢者の対応について（仮）」と題された用紙です。第2回目の研修会では、このテーマについて、司法書士等の専門職に講演をお願いする予定です。委員の皆様の中にも、このようなケースに関わったことがあるかと思えます。つきましては、次回、11月に開催する会議におきまして、事例等を紹介していただきたいと考えております。2枚目の</p>

事務局：加納補佐	<p>用紙にどのような流れで解決したか。どのような方法があったのか。身元保証してくれる業者の情報や必要な金額、行政の相談や関わりの有無などの情報をご記入いただき、9月15日までに、高齢者福祉課までFAXで回答していただくと助かります。ご自身で対応したケースではなく、相談にのった報告を受けたといったケースでも結構です。①から⑥まですべてを埋める必要はございません。また、対応した事例がない場合は、その旨を記載し、ご回答ください。どうぞよろしくお願いいたします。説明は以上になります。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>この認知症の地域包括支援センターとか、認知症初期支援チームとかですね、認知症簡易チェックサイトとかですね。認知症のホームページです。あれが非常によくできているんですね。それを知っていればですね、どっかに救いを求めることができます。自分ができなくても、ここに相談連絡すれば、サポートしてもらえるので、これをきちっと、ここに来ている人はもちろん、ここに来てない人にも情報を伝達して、繋がりがつくようにですね、そういう仕組みもぜひ作っていただけたらと思います。</p> <p>それから別紙についてですね。1人、2人暮らしだったのが一人暮らしになって最期を迎える時、孤独になる人が少なくない時代になっています。また家族、子供がいても子供が来ないという時代にもなってきました。連絡がつかないっていう時代になってきています。これもう本当に深刻な状況で、誰が何をしたらいいかっていうことがわからない状況です。1事例だけで、問題は解決しないと思います。いくつかの事例をですね、みんなで持ち寄って、こんな工夫をしたら、こんなことしたら繋がりができたよ、繋がらなかったよっていうことをですね、今から少し準備していただいて、これからの社会、もう本当社会問題をですね、紐解いていくという、その資料を作りたいと思いますので、別紙のことはですね、これから皆さんが、そういう症例に出くわしたらですね、これに、紐付けていただいて、連絡していただきたいなど。思っております。よろしいでしょうか。皆様の、これもう本当に皆様のご協力も必要だと思いますし、皆様も活用してご協力していただきたい。座長からそういうふうをお願いいたします。</p> <p>これで次回の会議の日程は11月中ということなので、決まり次第、事務局から委員へ通知をお願いいたします。本日の議事について、その他皆様からご意見ございますでしょうか。</p> <p>以上をもちまして本日の協議事項については終了いたします。これをもちまして、議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局：土屋課長	<p>関谷先生どうもありがとうございました。また委員の皆様ご協力ありがとうございました。</p> <p>先ほどのご説明の中で、今後のこの会議、また研修会の日程について、ご案内させていただきました。日程等決まり次第、また事務局の方からご案内いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>

事務局：土屋課長	それでは以上をもちまして、令和5年度第1回久喜市在宅医療介護連携推進会議を閉会とさせていただきます。本日は、ご出席どうもありがとうございました。
----------	--

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。(注)

令和5年6月6日

議事録署名人 池上 栄一

議事録署名人 次藤 千恵

(注) 特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。